

呼吸器内科

【原著論文】

- 1) Futamura K, Orihara K, Hashimoto N, Morita H, Fukuda S, Sagara H, Matsumoto K, Tomita Y, Saito H, Matsuda A: β 2-adrenoceptor agonists enhance cytokine-induced release of thymic stromal lymphopoietin by lung tissue cells. *Int Archives Allergy Immunol* 152(4): 353-361, 2010.
- 2) Akasaka K, Kaburagi T, Yasuda S, Ohmori K, Abe K, Sagara H, Ueda Y, Nagao K, Imura J, Imai Y: Impact of functional ABCG2 polymorphisms on the adverse effects of gefitinib in Japanese patients with non-small cell lung cancer. *Cancer Chemother Pharmacol* 66(4): 691-698, 2010.
- 3) Kajiwara N, Sasaki T, Bradding P, Cruse G, Sagara H, Ohmori K, Saito H, Ra C, Okayama Y: Activation of human mast cells through the platelet-activating factor receptor. *J Allergy Clin Immunol* 125(5): 1137-1145, 2010.

【総説等】

- 1) Makino S, Sagara H: Evolution of Asthma Concept and Effect of Current Asthma Management Guidelines. *Allergy Asthma Immunol Res* 2(3): 172-176, 2010.
- 2) 相良博典: 研究の周辺から-臨床家と基礎医学者との協調体制が研究成果の根源. *呼吸* 29(1): 1-2, 2010.
- 3) 相良博典: アレルギー性炎症に関与する細胞の活性化機構. *分子呼吸器病* 14(1): 11-15, 2010.
- 4) 相良博典: 高齢者喘息の漢方治療-特に柴朴湯と麦門冬湯の使い方-. *老年医学* 48(1): 99-105, 2010.
- 5) 相良博典: 好酸球活性化と局所集積機構. *呼吸器科* 16(6): 498-503, 2010.
- 6) 秋山一男, Bruce S. Bochner, 松本健治, 相良博典: 重症喘息の機序解明および治療における進歩. *IgE Practice in Asthma* 4(2): 6-14, 2010.
- 7) 相良博典: 呼吸器疾患に関する高度専門医療, 地域医療機関との連携について. *草加八潮医師会誌* (75): 18-20, 2010.
- 8) 相良博典: 成人喘息と性差. *Topics in Atopy* 9(1): 11-13, 2010.
- 9) 黒沢元博, 古平和美, 阿部修三, 森岡潤一郎, 稲村弘明, 保澤総一郎, 湯川龍雄, 相良博典: アスピリン喘息はなぜ女性に多く, 難治か-ゲノム薬理学的観点より-. *Topics in Atopy* 9(1): 14-19, 2010.
- 10) 黒沢元博, 湯川龍雄, 相良博典: 抗アレルギー薬の歴史-メディエーター遊離抑制薬開発の歴史-. *喘息* 23(1): 91-94, 2010.
- 11) 相良博典: 喘息に対するバイオマーカー. *Allergy from the Nose to Lung* 8(2): 3-8, 2010.
- 12) 相良博典: 喘息治療の新展開. *関医会報* (543): 22-24, 2010.
- 13) 相良博典: 成人の気管支喘息は治癒するか. *Topics in Atopy* 9(2): 4-8, 2010.
- 14) 相良博典: 喘息に対する吸入ステロイドの作用機序. *アレルギーの臨床* 30(8): 685-690, 2010.
- 15) 落合亜貴子, 相良博典: 慢性喘息とCOPD. *呼吸器内科* 18(3): 282-288, 2010.
- 16) 相良博典: 吸入ステロイド. *アレルギーの臨床* 30(12): 17-22, 2010.
- 17) 湯川龍雄, 相良博典, 黒沢元博: 抗アレルギー薬の歴史-TXA₂阻害薬: TXA₂合成酵素阻害薬とTXA₂受容体拮抗薬について. *喘息* 23(2): 215-226, 2010.

【学術書】

- 1) Sagara H, Kouyama K, Fukuda T, Makino S: Use of Theophylline and Sodium Cromoglycate in Adult Asthma. Pawankar R, Holgate S, Rosenwasser L, Allergy Frontiers: Therapy and Prevention. Springer. pp.187-194, 2010.
- 2) 相良博典: 気管支喘息. 山口徹, 北原光夫, 福井次矢, 今日の治療指針2010. 医学書院. pp.244-246, 2010.
- 3) 相良博典: 気管支喘息. 高久史磨, 猿田享男, 北村惣一郎, 福井次矢, 家庭医学大全科 6訂版. 法研. pp.2638-2642, 2010.
- 4) 相良博典: 過敏性肺炎. 高久史磨, 猿田享男, 北村惣一郎, 福井次矢, 家庭医学大全科 6訂版. 法研. pp.2642-2643, 2010.
- 5) 相良博典: アレルギー性気管支肺. 高久史磨, 猿田享男, 北村惣一郎, 福井次矢, 家庭医学大全科 6訂版. 法研. pp.2643-2644, 2010.
- 6) 相良博典: 職業性アレルギー. 高久史磨, 猿田享男, 北村惣一郎, 福井次矢, 家庭医学大全科 6訂版. 法研. pp.2647-2649, 2010.
- 7) 相良博典: アナフィラキシーショック. 高久史磨, 猿田享男, 北村惣一郎, 福井次矢, 家庭医学大全科 6訂版. 法研. pp.2649-2650, 2010.

【学会・研究会発表】

- 1) Sagara H, Masuda H, Ota M, Okada T, Akimoto K, Fukuda T, Fueki M, Fueki N: Neutralizing IgE prevents airway remodeling in a murine model of chronic asthma. American Thoracic Society International Conference 2010, New Orleans, 2010-5-15.
- 2) Akasaka K, Mizuguchi M, Watanabe H, Tanaka M, Wakayama T, Souma R, Kikuchi K, Ikegami G, Abe T, Kouyama K, Fujiwara H, Sagara H: A case of carcoidosis with multiple pulmonary cysts. American Thoracic Society International Conference 2010, New Orleans, 2010-5-16.
- 3) Fukuda T, Yukawa T, Sagara H, Takemasa A, Ota M, Sugiyama K, Hirata H, Ishii Y, Fukushima Y: Effect of carbocysteine on common cold frequency in asthma patients. American Thoracic Society International Conference 2010, New Orleans, 2010-5-19.
- 4) Niimi A, Ohbayashi H, Sagara H, Yamauchi K, Akiyama K, Takahashi K, Adachi M: A multicenter epidemiological survey of causes prolonged and chronic cough in Japan. American Thoracic Society International Conference 2010, New Orleans, 2010-5-19.
- 5) Kouyama K, Kouyama A, Sagara H: Production and roles of vitamin D-binding protein in pleural effusion. European Respiratory Society Annual Congress 2010, Barcelona, 2010-9-19.
- 6) Kikuchi K, Souma R, Ikegami G, Akasaka K, Abe T, Kouyama K, Fujiwara H, Sagara H: Inhibition of upper respiratory tract inflammation leads to inhibition of lower respiratory tract inflammation. European Respiratory Society Annual Congress 2010, Barcelona, 2010-9-21.
- 7) Fueki M, Makino S, Fueki N, Okada T, Katou D, Endo Y, Koike R, Sagara H: Singing is safe pleasure for COPD patients who showed significant decrease of oxygen saturation after walking. European Respiratory Society Annual Congress 2010, Barcelona, 2010-9-21.
- 8) Sagara H: Updates on the biomolecular & genetic basis of asthma & COPD: Are there unique Asian features?. 15th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology, Workshop: Chronic Respiratory Disease in the Asia-Pacific Region, Manila, 2010-11-22.

- 9) Ikegami G, Seki R, Watanabe H, Kida N, Tanaka M, Wada M, Mizuguchi M, Wakayama T, Akasaka K, Fueki N, Sagara H: Smoking Exacerbates airway inflammation in patients with asthma. 15th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology, Manila, 2010-11-23.
- 10) Kida N, Watanabe H, Tanaka M, Wada M, Mizuguchi M, Souma R, Ikegami G, Sagara H: The dose of inhaled steroids is not a risk factor for pneumonia. 15th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology, Manila, 2010-11-23.
- 11) 相良博典: 新規薬剤導入における喘息治療の幕開け. 会津医学会学術講演会, 会津若松市, 2010-1-25.
- 12) 高山賢哉, 阿部修三, 古平和美, 森岡潤一郎, 稲村弘明, 藤原寛樹, 相良博典, 黒沢元博: 遺伝子検査からみた気管支喘息と COPD. 第22回気管病態研究会, 千代田区, 2010-2-27.
- 13) 相良博典: 重症気管支喘息の病態と治療戦略. 西部地区アレルギー疾患セミナー, 廿日市市, 2010-2-5.
- 14) 相良博典: 新規薬剤導入における今後の喘息治療戦略. 社会保険委員会研修会, 越谷市, 2010-2-9.
- 15) 相良博典: 閉塞性肺疾患 (喘息/COPD) 治療の最前線-喘息-. 第30回吸入療法研究会, 中央区, 2010-2-13.
- 16) 相良博典: 喘息の基本病態から考える治療のノウハウ. 第27回東濃喘息対策委員会研究会, 恵那市, 2010-2-25.
- 17) 相良博典: 喘息病態から考える治療戦略. 第8回京滋呼吸フォーラム21, 京都市, 2010-3-20.
- 18) 佐藤英幸: 喘息治療の実際-シムビコートタービュヘイラーの使用経験から-. 一関内科会学術講演会, 一関市, 2010-4-15.
- 19) 相良博典: 喘息治療の新展開. 一関内科会学術講演会, 一関市, 2010-4-15.
- 20) 相良博典: 慢性咳嗽の診断アプローチと治療の導入ポイント. 第1回久喜市呼吸器カンファレンス, 久喜市, 2010-4-20.
- 21) 相良博典: 遷延性・慢性咳嗽の診断とその治療意義. 第6回岐阜臨床呼吸器セミナー, 岐阜市, 2010-4-22.
- 22) 相良博典: 喘息: 吸入ステロイド. 第50回日本呼吸器学会学術講演会 「イブニングシンポジウム7大規模臨床試験より見えるもの」, 京都市, 2010-4-22.
- 23) 相良博典: 喘息とアレルギー性鼻炎がおよぼす気道炎症. 第50回日本呼吸器学会学術講演会 「イブニングシンポジウム2気管支喘息とその周辺疾患」, 京都市, 2010-4-23.
- 24) 藤原寛樹, 高山賢哉, 森岡潤一郎, 稲村弘明, 五十嵐康, 相良博典, 黒沢元博: 遺伝子検査を用いたアスピリン喘息発症仮説. 第50回日本呼吸器学会学術講演会, 京都市, 2010-4-23.
- 25) 水口真理, 赤坂圭一, 渡邊浩祥, 田中真有子, 若山知薫, 相馬亮介, 菊池清和, 池上岳, 阿部篤朗, 高山賢哉, 藤原寛樹, 相良博典: 多発性肺嚢胞を呈したサルコイドーシスの一例. 第50回日本呼吸器学会学術講演会, 京都市, 2010-4-25.
- 26) 高山賢哉, 阿部修三, 古平和美, 森岡潤一郎, 稲村弘明, 五十嵐康, 藤原寛樹, 相良博典, 黒沢元博: 気道過敏性発現に関与する好酸球性気道炎症と好中球性気道炎症に関する遺伝子的検討. 第22回日本アレルギー学会春季臨床大会, 京都市, 2010-5-8.
- 27) 阿部修三, 古平和美, 森岡潤一郎, 稲村弘明, 五十嵐康, 高山賢哉, 藤原寛樹, 相良博典, 黒沢元博: アレルギー治療薬効果発現に関する遺伝子的検討. 第22回日本アレルギー学会春季臨床大会, 京都市, 2010-5-8.
- 28) 藤原寛樹, 阿部修三, 古平和美, 湯川龍雄, 保澤総一郎, 寺田満和, 保澤真紀, 森岡潤一郎, 稲村弘明, 五十嵐康, 高山賢哉, 相良博典, 黒沢元博: アスピリン喘息発症に関する遺伝子検討. 第22回日本アレルギー学会春季臨床大会, 京都市, 2010-5-8.
- 29) 相良博典: JGL2009からみた抗IgE抗体療法の可能性. 第22回日本アレルギー学会春季臨床大会 「学会アワー. 重症難治性における抗IgE抗体療法の可能性-JGL2009を踏まえ」, 京都市,

2010-5-9.

- 30) 相良博典: 関節リウマチ治療最前線-生物学的製剤を中心に-. 関節リウマチセミナー, 越谷市, 2010-5-12.
- 31) 相良博典: 喘息の基本病態から考える治療のノウハウ. 徳島ICS喘息治療学術講演会, 徳島市, 2010-6-8.
- 32) 相馬亮介, 高山賢哉, 笛木直人, 佐藤英幸, 菊池清和, 相良博典: 関質性肺炎に伴う肺高血圧症の一例. 埼玉呼吸器肺高血圧セミナー, さいたま市, 2010-6-11.
- 33) 相良博典: One Airway One Disease から考える喘息治療の動向. 愛媛One airway one disease 研究会, 松山市, 2010-6-19.
- 34) 菊池清和, 相馬亮介, 池上岳, 赤坂圭一, 阿部篤朗, 高山賢哉, 藤原寛樹, 相良博典: 上気道炎症抑制は下気道炎症抑制につながる. 第20回国際喘息学会日本・北アジア部会, 新宿区, 2010-7-2.
- 35) 相良博典: 重症喘息の病態とその治療戦略. 第20回国際喘息学会日本・北アジア部会, 新宿区, 2010-7-3.
- 36) 渡邊直人, 太田真弓, 相良博典, 福田健: イチゴ花粉によるアトピー咳嗽の1例. 第41回日本職業・環境アレルギー学会学術大会, 高崎市, 2010-7-20.
- 37) 相良博典: 予後を改善する治療戦略-気管支喘息. 第81回閉塞性肺疾患研究会, 千代田区, 2010-7-24.
- 38) 笛木直人: 全身性疾患としてのCOPD. 日医生涯教育協力講座 肺の生活習慣病: COPD (慢性気管支炎・肺気腫), さいたま市, 2010-7-24.
- 39) 相良博典: 診断Up to Date-喘息早期診断に係る最新の知見. 第30回六甲カンファレンス, 京都市, 2010-7-31.
- 40) 相良博典: 関節リウマチと呼吸器疾患-間質性肺炎を中心に-. 第11回埼玉県東部リウマチ研究会, 春日部市, 2010-9-14.
- 41) 相良博典: 喘息診断と治療のピットフォール. 第36回埼玉喘息・アレルギー研究会, さいたま市, 2010-9-25.
- 42) 相良博典: 喘息治療の課題と展望. 第10回愛知成人喘息研究会, 名古屋市, 2010-9-30.
- 43) 相良博典: 喘息の病態生理からみた治療アプローチ. 第28回呼吸器・免疫シンポジウム, 千代田区, 2010-10-9.
- 44) 菊池清和, 赤坂圭一, 池上岳, 相馬亮介, 田中真有子, 和田昌教, 若山知薫, 相良博典: 上気道炎症抑制が下気道に及ぼす影響. 臨床喘息研究会第18回学術講演会, 中央区, 2010-10-16.
- 45) 佐藤英幸: 喘息治療の実際-シムビコートタービュヘイラーの使用経験から-. Chronic Respiratory Disease Forum, 越谷市, 2010-10-20.
- 46) 相良博典: 喘息治療の進歩と課題. 第234回病院薬学研修会, さいたま市, 2010-10-21.
- 47) 相良博典: 喘息における気道炎症. 第6回末梢気道炎症研究会, 中央区, 2010-10-30.
- 48) 相良博典: 喘息治療のトータルマネジメント. 気管支喘息学術講演会, 高松市, 2010-11-4.
- 49) 相良博典: 膠原病と呼吸器疾患-生物学的製剤導入による注意点も含めて-. 第6回茨城県央・県北感染症治療研究会, 水戸市, 2010-11-10.
- 50) 赤坂圭一, 水口真理, 渡邊浩祥, 木田寧々, 佐藤英幸, 相馬亮介, 高山賢哉, 笛木直人, 相良博典: 上葉優位型肺線維症を併発したサルコイドーシスの1症例. 第47回日本臨床生理学会総会, 前橋市, 2010-11-19.
- 51) 和田昌教, 赤坂圭一, 田中真有子, 若山知薫, 落合亜貴子, 菊池清和, 池上岳, 高山賢哉, 笛木直人, 相良博典: CEA値がIgE値と平行して推移し, 疾患活動性マーカーとして有用であったABPAの1症例. 第47回日本臨床生理学会総会, 前橋市, 2010-11-19.
- 52) 笛木直人: COPDの最近の話題. 学術講演会第4回東部地区COPDフォーラム, 幸手市, 2010-11-26.

- 53) 高山賢哉, 阿部修三, 古平和美, 太田真弓, 森岡潤一郎, 稲村弘明, 五十嵐康, 湯川龍雄, 保澤総一郎, 寺田満和, 保澤真紀, 相良博典, 黒沢元博: アスピリン喘息における IL13, IL17A 遺伝子多型解析. 第60回日本アレルギー学会秋季学術大会, 千代田区, 2010-11-27.
- 54) 黒沢元博, 阿部修三, 古平和美, 太田真弓, 森岡潤一郎, 稲村弘明, 五十嵐康, 湯川龍雄, 保澤総一郎, 寺田満和, 保澤真紀, 高山賢哉, 相良博典: 遺伝子多型からみたアスピリン喘息病態. 第60回日本アレルギー学会秋季学術大会, 千代田区, 2010-11-27.
- 55) 阿部修三, 古平和美, 太田真弓, 森岡潤一郎, 稲村弘明, 五十嵐康, 湯川龍雄, 保澤総一郎, 寺田満和, 保澤真紀, 高山賢哉, 相良博典, 黒沢元博: アスピリン不対症におけるチトクロームP450酵素遺伝子多型解析. 第60回日本アレルギー学会秋季学術大会, 千代田区, 2010-11-27.
- 56) 相良博典: 上気道と下気道のクロストーク・ロイコトリエンの役割と受容体拮抗薬の位置づけ. 第10回長崎県央呼吸器セミナー, 諫早市, 2010-12-7.
- 57) 相良博典: 呼吸器疾患での各種吸入療法の役割. 第8回草加八潮地域連携呼吸器研究会, 草加市, 2010-12-8.

【公開講座】

- 1) 相良博典: 気管支喘息はコントロール可能な病気-その本質を探る-. 第10回県民のためのくすり講座, さいたま市, 2010-4-18.

【テレビ・ラジオ等】

- 1) 相良博典: 帝人ファーマ ムコソルバン **Expectorant** 去痰薬 ~トップオピニオンから学ぶ去痰~ 第10回. <http://g07.so-netm3.com/teijin/kyotan/10/html0511>, 2009.
- 2) 相良博典: 長引くセキで窒息死!?急増する大人ぜんそく. ためしてガッテン, NHKテレビ, 2010-10-20.